

【ネットの話題】

ペットの『里親』、ネットで募集 命を救う『善意のリレー』

2008年2月4日

ネットを利用した犬や猫の「里親探し」が広がっている。空前のペットブームの裏で、無責任な飼い主によるペットの悲劇は後を絶たないが、ネットの普及で里親が見つかる可能性は格段に高まった。消えかねない命を救う「善意のネットリレー」だ。

(ルポライター・宇津木聡史)

「柴犬 雄 推定二―三歳 保護日十二月十七日 とても控えめで、穏やかな性格...」

見捨てられた犬や猫の新しい飼い主「里親」を探すボランティア団体「CATNAP小さな命を救うネットワーク」のサイトだ。愛くるしい写真とともに、「保護状況」「特徴」「性格・くせ」「医療行為の記録」「希望者へのお願い」など詳細な情報が並び、ブログ「預かり日記」では日々の暮らしぶりも紹介し、里親との出会いを待つ。



CATNAPが1月に東京都調布市で開いた「里親会」

種類はさまざまで、ミニチュアダックスフントやトイプードルなどの人気種も少なくない。東京・埼玉・千葉の自治体や廃業した動物商から引き取られたものが多く、メンバーが一時預かり、希望者が現れると「お見合い」や「トライアル」を経て、新たな飼い主に引き渡す。

常時、数十匹が掲載され、二〇〇七年は二百匹余の犬と三十匹余の猫の新しい「家庭」が見つかった。

同様の活動は「カヤ成犬譲渡の会(CAJA)」「PAK保健所の犬・猫を救う会」など多くの団体が展開、「ネットは数多くの出会いをもたらし、そして、助けられる命がある」(CATNAP)と強調する。

里親探しの情報交換サイトも少なくない。「ペネット」は、オークションによる売買譲渡ではなく、信頼できる飼い主を見つけられるようサポート。二年余で約五百匹が「転居」した。

「いつでも里親募集中」という掲示板サイトには、全国から三千匹近くの募集情報が寄せられている。

一方、自治体も、収容動物の情報提供や、飼い主が現れない犬や猫の引き取り手を募るために、ネットを活用している。

埼玉県動物指導センターは、希望の多い子犬や子猫とは別に、成犬や成猫の写真や情報も掲載し「一匹でも多く、新しい飼い主が見つかってほしい」と願いを込める。千葉県動物愛護セ

ンターや東京都動物愛護相談センターは、収容動物を写真付きで紹介。神奈川県も、譲渡の条件や手続きについて詳述するなど腐心している。

新たにペットを買おうという人は、一度はネットで里親探しサイトをのぞいてみたい。引き取る際には、若干の費用がかかる程度。成長した犬や猫が多いが、性格がよくわかっているの
で相性を見極めやすいというメリットもある。

ただ、サイトによっては有料譲渡になるケースもあるので要注意。高齢のペットは医療費がかかりやすいことなどにも留意したい。

飼い主に見放されて殺処分になるのは、年間三十万匹といわれる。「二度と悲しい思いをさせず、最後まで面倒を見てほしい」という思いは、ペットを愛する人の共通の願いだ。

【主な里親関連サイト】

(いずれも冒頭にhttp://)

CATNAP catnap.coco.co.jp

カヤ成犬譲渡の会 www.jyoto.jp

PAK homepage3.nifty.com/nazozen

ペネット www.penet.jp

いつでも里親募集中 www.satoya-boshu.net

東京都動物愛護相談センター www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/douso/index.html

神奈川県動物保護センター www.pref.kanagawa.jp/osirase/15/1594/index12.htm

埼玉県動物指導センター www.pref.saitama.lg.jp/A04/BB02/top.htm

千葉県動物愛護センター www.pref.chiba.jp/syozoku/c_ei/si/aigo/index.html

Copyright © The Chunichi Shimbun, All Rights Reserved.